

評価(基準)等について

◇評価(基準)等の視点

・基本計画(案)にある本市の現状(児童数の減少・施設の老朽化)等を踏まえ、今後の小学校再編にあたって、小松島市がめざす教育環境(適正配置・望ましい学校規模・めざす学校像)の実現を図るため、基本計画(案)の基本方針にある具体的な方針(1)から(5)を基に、

■望ましい学校規模

■再編場所

■学校施設

の3項目に絞って比較を行い、地勢・地域性、その他事項については、課題・検討事項などを記載している。

■望ましい学校規模(12学級(1学年2クラス)以上・・・)に関して

- ・・・1学年2クラス以上を維持できる場合
- △・・・1学年2クラス以上を維持できない場合

■再編場所に関して

- ◎・・・各学校間の距離が、概ね2,500m程度までの場合
- ・・・各学校間の距離が、概ね4,000m程度までの場合
- △・・・学校間の距離が、概ね4,000m程度を超える場合

■学校施設に関して

- ◎・・・最も効率的に教育環境の整備が図れる場合
- ・・・効率的に教育環境の整備が図れる場合

■地勢・地域性

- ※・・・課題・検討事項がある場合

■その他

- ※・・・特記事項

再編内容①

(小松島・南小松島・北小松島・千代・児安・芝田)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

- 1学年2クラス以上を維持できる。（24学級・1学年4クラス）
（大規模校）

■再編場所に関して

- ◎ 南小松島小学校敷地に新校を建設した場合
 - ・南小松島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約680mから約2,260mの範囲である。

・小松島小学校	（約 680m）
・北小松島小学校	（約 1,110m）
・千代小学校	（約 1,450m）
・児安小学校	（約 1,900m）
・芝田小学校	（約 2,260m）

■学校施設に関して

- ◎ ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える4校を含んでおり、4校同時に良質な教育環境の整備が可能となる。

・南小松島小学校	※2026（平成38）年度
・児安小学校	※2027（平成39）年度
・千代小学校	※2028（平成40）年度
・芝田小学校	※2028（平成40）年度
・北小松島小学校	新耐震基準(H55)
・小松島小学校	新耐震基準(H72)

■地勢・地域性

- ※ ・小松島中学校区内の小学校全てを統合することになり、これまでの6小学校を中心とした地域性や、その地域性を今後新しい学校にいかにつなげていくかが課題となる。

■その他

- ※ ・将来的に児童数の減少は不可避であるため、先を見越した再編となる。
・義務教育9年間を通じて小・中学校間での連携・接続が容易になる。

再編内容②

(坂野・和田島)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

△ 1学年2クラス以上を維持できない。（8学級・1学年1～2クラス（小規模校））

■再編場所に関して

◎ 和田島小学校敷地に新校を建設した場合
・和田島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約1,730mである。

・坂野小学校	（約 1,730m）
--------	------------

■学校施設に関して

- ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える1校を含んでいる。

・和田島小学校	※2026（平成38）年度
・坂野小学校	(H52)

■地勢・地域性

※ ・小松島市の小学校再編を考えるうえで、地勢・地域性を踏まえると、和田島小、坂野小の統合は近隣・隣接校でもあり必然性もある。（ただし、望ましい学校規模を達成することができない場合が想定されている。）

■その他

-

再編内容③

(立江・櫛淵・新開)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

△ 1学年2クラス以上を維持できない。（6学級・1学年1クラス）
（小規模校）

■再編場所に関して

○ 新開小学校敷地に新校を建設した場合
・新開小学校を起点とした距離（直線距離）は、約1,686mから約4,136mの範囲である。

・立江小学校	（約 1,686m）
・櫛淵小学校	（約 4,136m）

■学校施設に関して

- ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える1校を含んでいる。

・新開小学校	※2030（平成42）年度
・立江小学校	（H44）
・櫛淵小学校	新耐震基準（H54）

■地勢・地域性

※ ・小松島市の小学校再編を考えるうえで、地勢・地域性を踏まえると新開小、立江小、櫛淵小の統合は近隣・隣接校でもあり必然性もある。（ただし、望ましい学校規模を達成することができない場合が想定されている。）

■その他

-	-
---	---

再編内容④

(小松島・北小松島・千代)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

- 1学年2クラス以上を維持できる。（12学級・1学年2クラス）
（適正規模校）

■再編場所に関して

- ◎ 小松島小学校敷地に新校を建設した場合※小松島小（新耐震基準）
・小松島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約760mから約842mの範囲である。

・北小松島小学校	（約 842m）
・千代小学校	（約 760m）

- ◎ 千代小学校敷地に新校を建設した場合
・千代小学校を起点とした距離（直線距離）は、約760mから約1,144mの範囲である。

・小松島小学校	（約 760m）
・北小松島小学校	（約 1,144m）

■学校施設に関して

- ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える1校を含んでいる。

・千代小学校	※2028（平成40）年度
・北小松島小学校	新耐震基準(H55)
・小松島小学校	新耐震基準(H72)

■地勢・地域性

-	-
---	---

■その他

- ※ ・小松島小学校校舎は、11小学校のうち最も新しい施設であり、今後、学校施設以外の利活用も可能である。

再編内容⑤

(南小松島・児安・芝田)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

- 1学年2クラス以上を維持できる。（18学級・1学年3クラス）
（適正規模校）

■再編場所に関して

- 南小松島小学校敷地に新校を建設した場合
- ・南小松島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約1,900mから約2,260mの範囲である。

・児安小学校	（約 1,900m）
・芝田小学校	（約 2,260m）

■学校施設に関して

- ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える3校を含んでおり、3校同時に良質な教育環境の整備が可能となる。

・南小松島小学校	※2026（平成38）年度
・児安小学校	※2027（平成39）年度
・芝田小学校	※2028（平成40）年度

■地勢・地域性

- ・児安小学校は、南小松島小学校（約1,900m）より小松島小学校（約1,663m）が近く、南小松島小学校へは小松島小学校校区を通過することにもなる。

■その他

-	-
---	---

再編内容⑥

(立江・櫛淵・新開・坂野・和田島)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

- 1学年2クラス以上を維持できる。（14学級・1学年2～3クラス（適正規模校））

■再編場所に関して

- △ 和田島小学校敷地に新校を建設した場合
- ・和田島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約1,730mから約7,008mの範囲である。

・坂野小学校	（約 1,730m）
・新開小学校	（約 2,851m）
・立江小学校	（約 4,540m）
・櫛淵小学校	（約 7,008m）

- 新開小学校敷地に新校を建設した場合
- ・新開小学校を起点とした距離（直線距離）は、約1,461mから約4,136mの範囲である。

・坂野小学校	（約 1,461m）
・立江小学校	（約 1,686m）
・和田島小学校	（約 2,851m）
・櫛淵小学校	（約 4,136m）

■学校施設に関して

- ◎ ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える2校を含んでおり、2校同時に良質な教育環境の整備が可能となる。

・和田島小学校	※2026（平成38）年度
・新開小学校	※2030（平成42）年度
・立江小学校	(H44)
・坂野小学校	(H52)
・櫛淵小学校	新耐震基準(H54)

■地勢・地域性

- ※ ・小松島南中学校区内の小学校全てを統合することになり、これまでの5小学校を中心とした地域性や、その地域性を今後新しい学校にいかにか引き続いていくかが課題となる。
- ・校区が東西に広範囲になる。

■その他

- ※ ・将来的に児童数の減少は不可避であるため、先を見越した再編となる。
- ・義務教育9年間を通じて小・中学校間での連携・接続が容易になる。

再編内容⑦

(小松島・北小松島・千代・児安)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

- 1学年2クラス以上を維持できる。（12学級・1学年2クラス）
（適正規模校）

■再編場所に関して

- ◎ 千代小学校敷地に新校を建設した場合
・千代小学校を起点とした距離（直線距離）は、約760mから約1,676mの範囲である。

・小松島小学校	（約 760m）
・北小松島小学校	（約 1,144m）
・児安小学校	（約 1,676m）

- ◎ 小松島小学校敷地に新校を建設した場合※小松島小（新耐震基準）
・小松島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約760mから約1,663mの範囲である。

・千代小学校	（約 760m）
・北小松島小学校	（約 842m）
・児安小学校	（約 1,663m）

■学校施設に関して

- ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える2校を含んでいる。

・児安小学校	※2027（平成39）年度
・千代小学校	※2028（平成40）年度
・北小松島小学校	新耐震基準(H55)
・小松島小学校	新耐震基準(H72)

■地勢・地域性

-	-
---	---

■その他

- ※ ・小松島小学校校舎は、11小学校のうち最も新しい施設であり、今後、学校施設以外の利活用も可能である。

再編内容⑧

(南小松島・芝田)

■望ましい学校規模（12学級（1学年2クラス）以上・・・）に関して

- 1学年2クラス以上を維持できる。（16学級・1学年2クラス）
（適正規模校）

■再編場所に関して

- 南小松島小学校敷地に新校を建設した場合
・南小松島小学校を起点とした距離（直線距離）は、約2,260m
である。

・芝田小学校	（約 2,260m）
--------	------------

■学校施設に関して

- ・計画期間内（～2030（平成42）年度）に築60年を迎える2校を含んでいる。

・南小松島小学校	※2026（平成38）年度
・芝田小学校	※2028（平成40）年度

■地勢・地域性

-	-
---	---

■その他

-	-
---	---